

経済学 (第4週)

前回分 (1-1, 1-2-1) をキーワードで確認

- ◆ 経済部門 (家計, 企業, 政府)
- ◆ 私的財と公共財, 消費財と投資財
- ◆ 粗付加価値とGDP
- ◆ GDPに関する「三面等価」

→ 生産GDP
分配GDP (GDI)
支出GDP (GDE)

1

1-2-1④ 分配GDP (GDI) の内訳

- 雇用者所得
- 営業余剰 (+ 混合所得)
- 固定資本減耗
- 間接税－補助金

2

1-2-1⑤ 支出GDP (GDE) の内訳

- 民間最終消費支出
- 政府最終消費支出
- 国内総固定資本形成
- 在庫品増加
- 財・サービスの輸出
- (－) 財・サービスの輸入

※練習問題 3

3

1-2-1⑥ なぜ「三面等価」が成立するのか

- ◆ ある期間の事後的な関係として、次式が成立
一国全体の生産 (供給) = 支出 (需要) = 所得 (分配)
- ◆ 現実の需要 (支出) と供給 (生産) :
 - ・ 異なる主体がそれぞれ独立に計画している
 - ・ 生産されたものが全て需要されるとは限らない
- ◆ 国民経済計算統計 (SNA) における三面等価:
消費財の売れ残りを「在庫品」として投資支出に含め
支出項目に計上する結果、会計勘定上は「三面等価」
が成立することになる。

4

1-2-2① I-Sバランス

- ◆ 三面等価の原則は (売れ残りを在庫投資とみなしたうえでの) 会計勘定上の事後的な恒等関係を表している。
- ◆ マクロ経済学では、近似的に、一国全体で集計された財の市場を考え、そこで潜在的な需給の均等をもたらすメカニズムが存在すると仮定して、GDPの決定を説明する。

5

- ◆ マクロ経済における財の需給均衡を、ISバランスとよぶことがある。それは財・サービスの需給バランスが次のように定式化されるからである。

$$Y = C + I \quad (\text{財の需給})$$

$$S \equiv Y - C \quad (\text{貯蓄の定義})$$

$$\longleftrightarrow I = S$$

6

1-2-2② 可処分所得とISバランス

- ◆ **可処分所得** = 所得 - 租税 (= $Y - T$)
- ◆ 需要項目の再定義 (GDEの確認)

$$Y = C + I + G + EX - IM$$

- ◆ **貯蓄**の再定義 ($S \equiv (Y - T) - C$)
- ◆ ISバランス (政府と海外含む)

$$I + G + EX = S + T + IM$$

7

1-2-3① SNAとは

- ◆ **SNA** (System of National Accounts)

邦語では「**国民経済計算体系**」

一国経済を体系的に記録する経済統計体系。
日本では**内閣府経済社会総合研究所**が作成

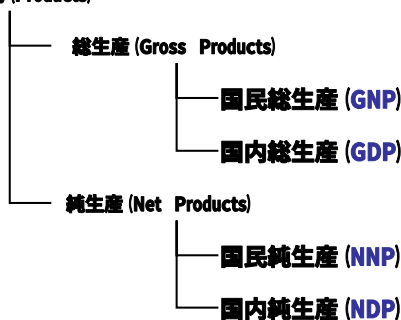
- ◆ 「93SNA」

1993年に国際連合が採択した 勘定体系の国際標準。フロー編とストック編に区分され、さらにそれぞれが勘定表、系列表などに細かく区分されている。*

8

1-2-3② 財・サービスのフロー:ポイント

生産物 (Products)



※ 市場価格表示と要素費用表示

9

◆ Gross集計とNet集計

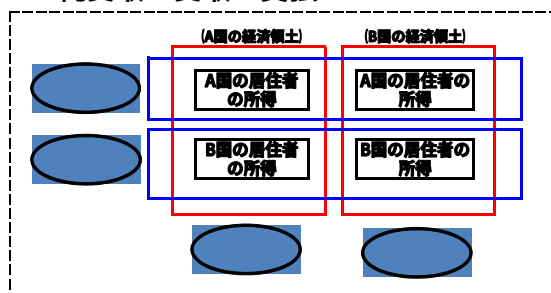
- ◆ **Gross Products (総生産または粗生産)** :
対象となる期間における (粗) 付加価値の総計。
ただし、実際に生じる資本設備の劣化や廃棄にともなう価値の低下分が除かれていない
- ◆ **Net Products (純生産)** :
Gross Productsから、固定資本の価値低下分 (**固定資本減耗**、企業財務レベルでは「**減価償却費**」) を差し引いた付加価値の合計

10

◆ 国内(Domestic)と国民(National)の違い

$$GNP = GDP + (\text{海外からの要素所得の純受取})$$

※ 純受取 = 受取 - 支払



11

1-2-3③ 市場価格表示と要素費用表示

- ◆ 個別の財の市場価格には、その生産に必要な生産要素への支払い (費用) だけでなく、**政府への移転 (間接税の支払や補助金の受取)** が含まれている。
- ◆ **要素費用表示のNNP**
= 市場価格表示のNNP - (間接税 - 補助金)
- ◆ 要素費用表示のNNP を「**国民所得**」という。
- ※ 現在のSNA統計では「要素費用表示の国民所得」と表記

12

***SNA 体系の概要**

- (A) 財・サービスのフロー**
 - (a) 財・サービスの供給及び需要**
 - (b) 国内総支出 (GDE)**
 - (c) 国内総生産 (GDP)**
- (B) 所得のフロー**
- (C) 蓄積と資本調達のフロー**
- (D) ストック**
- (E) デフレーターと実質値**